

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-4 文化財の保存・継承と活用
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	文化財課長 萩 雅人	電話番号	0852-22-6468
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	文化財活用事業		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	子供から高齢者までの幅広い世代に島根県の歴史文化を学習する機会を積極的に提供し、ふるさとを誇りに思う心を醸成することで、県民の心の豊かさの向上に寄与する。	
事業概要	県民の「郷土の歴史に対する探究」というニーズを掘り起こし、またこれに応えるため、幅広い世代に島根の歴史と文化財を学習する機会を積極的に提供する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	子ども塾、いにしえ倶楽部、まちあるきイベントの総参加者数、風土記の丘レンタサイクル等の利用者数	目標値		1,650.0	1,700.0	1,750.0	1,800.0	人
	式・定義	子ども塾・いにしえ倶楽部受講者数+まちあるきイベントの総参加者数+風土記の丘レンタサイクル等の利用者数	実績値	1,633.0	1,842.0	1,801.0			
			達成率	-	111.7	106.0	-	-	
2	指標名		目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	2,577	3,177
うち一般財源 (千円)	1,332	1,625

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・29年度は、普及活用事業として、心に残る文化財子ども塾（26回）、いにしえ倶楽部（4回）、まちあるきイベント等（20回）、風土記の丘レンタサイクル等の貸出（随時）を実施した。
 ・参加者数は、28年度実績1,842人と比較して、41人減の1,801人となった。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

これらの取り組みは継続して実施しており、文化財イベント・講座への参加希望者は定員を上回るものも多い。
 子ども塾の実施校は昨年度実績をふまえ1校増やし26校で実施した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
 ・子ども塾等については、実施要望が多いがものの、活用事業の主体となる埋蔵文化財調査センターの業務量が増加しており、ニーズに応え難くなっている。
- ②困っている状況が発生している「原因」
 ・埋蔵文化財調査センターの実施体制の確保が十分にできていない。
- ③原因を解消するための「課題」
 ・県の関係機関や市町村との連携強化

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・心に残る文化財子ども塾については、古代出雲歴史博物館や古代文化センターなどとも連携しながら事業を実施し、30年度からは市町村との連携強化へ向けた取り組みを行うことで3校程度の増加を目指す。また、限られた人員・予算でも、できるだけ多くの需要に応えられるよう実施手法の検討等を行う。